

令和7年2月

サービス運営推進会議（在宅包括サービスおおいど）

報告事項

○利用者状況

12月

介護度	申請中	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数		5名	3名	9名	3名	4名

計 24名

新規 1名（腰椎圧迫骨折）

入院 2名（がんの疑い、インフルエンザ）

12月中の終了 1名（看多機で看取り）

1月

介護度	申請中	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数		4名	5名	12名	3名	5名

計 29名

新規 6名（末期がん 3名、退院受け入れ 2名、肺炎 1名）

退院 1名

1月中の終了 2名（看多機で看取り 2名）

○活動の報告

1/1 行事食（おせち料理）



1/4 初詣（白龍神社）



○研修等

群馬県地域密着型サービス連絡協議会

12/16 管理者等研修会 「リーダーに求められる大切な3のこと」

メディカル・ケア・サービス株式会社 代表：杉本浩司氏「日本一かっこいい介護福祉士」
伊藤が参加

12月中 オンライン研修：高齢者虐待防止関連法を含む虐待 防止に関する研修

全職員が受講

2/5 看取りの振り返り 看多機の看護師、介護職員の他、大井戸診療所の看護師も参加

○感染対策について

・12月、1月で4名のインフルエンザ感染者がでました。

引き続き、感染対策へのご協力をお願いいたします。

・看多機への訪問について

新型コロナ感染症が5類となりましたが、体調不良時の訪問はお控えください。

・サービスの利用について

発熱等の症状がある場合には、まずご一報をお願いします。

必要に応じて、抗原定性検査を実施してからのサービス利用とさせていただきます。

同居のご家族に症状がある場合にも、ご連絡をいただけるようお願いします。

(念のため、隔離対応いたします。)

○看多機での看取りについて

- ・12月1件
- ・1月2件
- ・2月2件

・最近の看取りの様子

A（古郡宗一）さんは、がん末期で、時々お泊りをご利用しながら通いサービスを利用されていましたが、お亡くなりになる2週間前から看多機に連泊し、看取りました。1月ほど前には、「何か心残りはないか」と尋ねたところ、自身が携わった神社へのお参りをしました。また、亡くなる数日前にはおちょこで日本酒を呑まれていました。

B（大島サクエ）さんは、通い・宿泊・配食サービスを利用しながら一人暮らしをされていましたが、上行結腸癌で入院。ご家族は癌の治療はしないという選択をされ、身体の衰弱は見られましたが、看取りが近いということで、最期は看多機で連泊をし、看取りました。

C（須永秀雄）さんは、肺に水が溜まっていましたが、入院したくないとのご本人の意思のもと、ご自宅で静養されていました。しかし、自宅ではケアが行き届かないということで、お亡くなりになる3日前から看多機に連泊し、看取りました。

D（高井伸明）さんは、食道がんで胃ろうから栄養を注入されていましたが、自宅で奥様が介護していました。しかし、状態が急激に悪くなっていくご本人の介護に不安が強くなり、お亡くなりになる5日前から看多機に連泊し、看取りました。

E（多賀谷徳二）さんは、左頬粘膜癌のため、ご自宅で療養されていましたが、お亡くなりになる2週間前から看多機に連泊し、看取りました。



左は、Eさんがお亡くなりになる3日前の自宅訪問の様子。

右は、Aさんが神社へお参りをしたときの様子です。

○看多機アンケートについて

開設から、昨年12月までに利用開始になった32名の方にアンケートを実施しました。

その時になって必要なケアの方法については個別に訪問し、その技術の提供を行ってきましたが、「オムツ交換の方法をもっと早く知りたかった」という意見がありました。勉強会などを実施して、今後のケアに備えていくのもよいかと思いました。

◎身体拘束適正化委員会

- ・前回の会議から本日までの間に、身体拘束に該当する事案はありませんでした。